

委託事業実施内容報告書

平成26年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業 【地域日本語教育実践プログラム(B)】

受託団体名 公益財団法人三重県国際交流財団

1. 事業名称

外国につながりをもつ親子のための日本語教育支援プロジェクト

2. 事業の目的

外国につながりをもつ子どもたち、およびその保護者の日本語習得支援を目的として、①絵本の読み聞かせ活動のための日本語クラスを実施し、②家庭や教育機関でもその活動を実践するためのリソースをまとめて、県内の対象となる機関および対象家庭と共有することで、幼児期の日本語教育と、そのために重要となる母語保持のための支援体制を家庭の中から整備していくことを目指す。

3. 事業内容の概要

取組1では、外国につながりをもつ親子を対象に日本語教室を開講した。母語習得の途上にある子どものクラスでは、母語と日本語両方に触れられるクラスをデザインし、その保護者を対象にした大人クラスでは、子供向けの絵本を日本語と母語両方で理解して楽しみ、子どもへ2言語で読み聞かせをした。取組2では母語保持の大切さと絵本の読み聞かせの方法についてのアドバイスと、実際に家庭ですぐに活用できるオリジナル絵本を掲載した冊子を作成し、取組1の受講者やその他対象者が、家庭においても手軽に読み聞かせに取り組みやすいような素材を提供した。

4. 運営委員会の開催について

【概要】

回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題	検討内容
1	平成26年6月14日 (土) 13:00～16:00	3時間	みえ県民交流センター	伊藤順子、佐藤真紀、ネストール・ブノ、船見和秀 (事務局)宇藤美帆、猪狩英美	・文化庁当該事業および本プロジェクトの概要説明 ・取組1の内容等についての検討 ・取組2についての検討	対象とする子ども、実施会場、日程および募集方法について協議した。
2	平成26年11月16日 (日) 13:00～16:00	3時間	みえ県民交流センター	佐藤真紀、船見和秀 (事務局)宇藤美帆、猪狩英美	・「第1回親と子のおはなし教室」の報告 ・「第2回親と子のおはなし教室」「多言語おはなし会」についての検討 ・取組2「親と子のおはなしハンドブック」の検討	「第1回親と子のおはなし教室」の結果をふまえ、第2回の開催場所、募集方法、日程、内容等の改善案について協議した。
3	平成27年2月28日 (土) 13:00～16:00	3時間	みえ県民交流センター	伊藤順子、佐藤真紀、ネストール・ブノ、船見和秀 (事務局)宇藤美帆、猪狩英美	・「第2回親と子のおはなし教室」「多言語おはなし会」の報告 ・取組2「親と子のおはなしハンドブック」の検討 ・各取組の改善点および今後の課題	ハンドブックの内容について、わかりにくい表現について協議した。また、東海地域における子どもの日本語教育についての課題を共有し、今後どのように取組を継続し、広めていくべきか検討した。

5. 取組についての報告

○取組1:親と子のおはなし教室

(1) 体制整備に向けた取組の目標

外国につながりをもつ親子を対象に絵本の読み聞かせを行う教室を設定し、子どもたちには①日本語と母語両方の能力を高めてもらう機会を与え、同時に異文化に対する理解を促した。保護者には②子ども向け絵本の読解と翻訳作業を通して、日本語能力向上と日本文化理解を目指した。さらに、子どもへの読み聞かせ活動を行い、保護者自身の言語教育に対する関心と理解を高めた。また、子どもたちが集まる他機関または他事業の取組の機会を活用し、2言語による絵本の読み聞かせの会（以下、「多言語おはなし会」とする）を行い、絵本を通して日本語に親しんでもらった。

(2) 取組内容

対象となる親子を5組～10組程度募集し、子どもクラスとその保護者のための大人クラスを設定した。
①子どもクラスでは母語を介在してスムーズに概念形成を行いながら、たくさんの日本語に触れる機会を与える活動を行った。
②大人クラスでは自国あるいは日本の絵本等の読解および翻訳作業を通して日本語を学び、さらにその絵本を2言語で子どもに読み聞かせた。これにより、家庭でも子どもの言語教育に積極的に取り組む姿勢を養った。
上記日本語教室での読み聞かせの他に、県内の子ども向け初期日本語指導教室や外国人コミュニティの集会等を利用して、「多言語おはなし会」を行った。※「多言語おはなし会」は子どものみを対象とした。

(3) 対象者 主にフィリピンおよびブラジル(その他中南米地域を含む)につながりをもつ親子

(4) 参加者の総数 125 人

出身・国籍別内訳

中国	2人	インドネシア	人	
韓国	人	タイ	人	ボリビア 2人
ブラジル	30人	ペルー	1人	
ベトナム	人	フィリピン	69人	
ネパール	人	日本	21人	

(5) 開催時間数(回数) 66 時間 (全 34 回)

(6) 取組の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	内容	講師等氏名	補助者氏名
1	平成26年9月8日 10:00~12:00	2時間	アスト津 (三重県津市)	3人	フィリピン(3人)	自己紹介、絵本の読み聞かせ体験	名前札を作成し自己紹介をする。母語の大切さ、日本語と母語の関係についての講義を受ける。その後、簡単な絵本で読み聞かせの体験をする。	小野則子	
2	平成26年9月8日 10:00~11:00	1時間	アスト津 (三重県津市)	子ども2人	フィリピン(2人)	日本語とフィリピン語でいろいろな活動をする	日本語の絵本やフィリピン語の絵本を読む。絵本の内容に合わせて、工作をしたり、歌を歌ったりする。	佐藤真紀	西村キャサリン
3	平成26年9月8日 13:00~15:00	2時間	アスト津 (三重県津市)	2人	ブラジル(1人)、ペルー(1人)	自己紹介、絵本の読み聞かせ体験	名前札を作成し自己紹介をする。母語の大切さ、日本語と母語の関係についての講義を受ける。その後、簡単な絵本で読み聞かせの体験をする。	小野則子	
4	平成26年9月8日 13:00~14:00	1時間	アスト津 (三重県津市)	子ども0人		日本語とポルトガル語でいろいろな活動をする	日本語の絵本やポルトガル語の絵本を読む。絵本の内容に合わせて、工作をしたり、歌を歌ったりする。	佐藤真紀	古田シルビア 波田野サユリ
5	平成26年9月9日 10:00~12:00	2時間	アスト津 (三重県津市)	1人	フィリピン(1人)	日本の絵本を読む	日本のおべんとうを題材にした絵本を読み、フィリピン語で表現する。その中で、いろいろな日本語表現を学ぶ。	曽根由香里	竹山安奈
6	平成26年9月9日 10:00~11:00	1時間	アスト津 (三重県津市)	子ども3人	中国(2人)、日本(1人)	日本語でいろいろな活動をする	日本語の絵本を読む。絵本の内容に合わせて、工作をしたり、歌を歌ったりする。	佐藤真紀	西村キャサリン
7	平成26年9月9日 13:00~15:00	2時間	アスト津 (三重県津市)	4人	ブラジル(2人)、ペルー(1人)	日本の絵本を読む	日本のおべんとうを題材にした絵本を読み、ポルトガル語やスペイン語で表現する。その中で、いろいろな日本語表現を学ぶ。	曽根由香里	
8	平成26年9月9日 13:00~14:00	1時間	アスト津 (三重県津市)	子ども2人	ブラジル(1人)、ボリビア(1人)	日本語、ポルトガル語、スペイン語でいろいろな活動をする	日本語やポルトガル語、スペイン語の絵本を読む。絵本の内容に合わせて、工作をしたり、歌を歌ったりする。	佐藤真紀	古田シルビア 波田野サユリ
9	平成26年9月10日 10:00~12:00	2時間	アスト津 (三重県津市)	5人	フィリピン(5人)	フィリピンの絵本を読む	フィリピンの絵本を読み、日本語で表現する。その過程で、いろいろな日本語表現を学ぶ。	曽根由香里	竹山安奈
10	平成26年9月10日 10:00~11:00	1時間	アスト津 (三重県津市)	子ども4人	フィリピン(4人)	日本語とフィリピン語でいろいろな活動をする	日本語やフィリピン語の絵本を読む。絵本の内容に合わせて、工作をしたり、歌を歌ったりする。	佐藤真紀	西村キャサリン
11	平成26年9月10日 13:00~15:00	2時間	アスト津 (三重県津市)	3人	ブラジル(2人)、ペルー(1人)	ポルトガル語やスペイン語の絵本を読む	ポルトガル語やスペイン語の絵本を日本語で表現する。その過程で、いろいろな日本語表現を学ぶ。	曽根由香里	
12	平成26年9月10日 13:00~14:00	1時間	アスト津 (三重県津市)	子ども0人		日本語とポルトガル語でいろいろな活動をする	日本語やポルトガル語の絵本を読む。絵本の内容に合わせて、工作をしたり、歌を歌ったりする。	佐藤真紀	古田シルビア 波田野サユリ
13	平成26年9月11日 10:00~12:00	2時間	アスト津 (三重県津市)	5人	フィリピン(1人)、日本(4人)	日本の絵本を読む	日本の絵本を日本語とフィリピン語で読む練習をし、子どもたちに読み聞かせる。	曽根由香里	竹山安奈、西村キャサリン(11:00~12:00のみ)
14	平成26年9月11日 10:00~11:00	1時間	アスト津 (三重県津市)	子ども5人	フィリピン(1人)、日本(4人)	日本語とフィリピン語でいろいろな活動をする	日本語やフィリピン語の絵本を読む。絵本の内容に合わせて、工作をしたり、歌を歌ったりする。	佐藤真紀	西村キャサリン
15	平成26年9月11日 13:00~15:00	2時間	アスト津 (三重県津市)	5人	ブラジル(4人)、ペルー(1人)	日本の絵本を読む	日本の絵本を日本語、ポルトガル語、スペイン語で読む練習をし、読み聞かせをする。	曽根由香里	古田シルビア(14:00~15:00のみ) 波田野サユリ(14:00~15:00のみ)
16	平成26年9月11日 13:00~14:00	1時間	アスト津 (三重県津市)	子ども0人		日本語とポルトガル語でいろいろな活動をする	日本語の絵本、ポルトガル語の絵本を読む。絵本の内容に合わせて、工作をしたり、歌を歌ったりする。	佐藤真紀	古田シルビア 波田野サユリ
17	平成26年9月12日 10:00~12:00	2時間	アスト津 (三重県津市)	6人	フィリピン(3人)、日本(3人)	フィリピンの絵本を読む	フィリピンの絵本を日本語とフィリピン語で読む練習をし、子どもたちに読み聞かせる。	曽根由香里	竹山安奈、西村キャサリン(11:00~12:00のみ)

18	平成26年9月12日 10:00～11:00	1時間	アスト津 (三重県津市)	子ども4 人	フィリピン (1人)、日本 (3人)	日本語とフィリピン語でいろいろな活動をする	日本語やフィリピン語の絵本を読む。絵本の内容に合わせて、工作をしたり、歌を歌ったりする。	佐藤真紀	西村キャサリン
19	平成26年9月12日 13:00～15:00	2時間	アスト津 (三重県津市)	4人	ブラジル (3人)、ペルー (1人)	ポルトガル語やスペイン語の絵本を読む	ポルトガル語、スペイン語の絵本を日本語、ポルトガル語、スペイン語で読む練習をし、読み聞かせをする。	曽根由香里	古田シルビア (14:00-15:00のみ) 波田野サユリ (14:00-15:00のみ)
20	平成26年9月12日 13:00～14:00	1時間	アスト津 (三重県津市)	子ども0 人		日本語とポルトガル語でいろいろな活動をする	日本語の絵本、ポルトガル語の絵本を読む。絵本の内容に合わせて、工作をしたり、歌を歌ったりする。	佐藤真紀	古田シルビア 波田野サユリ
21	平成26年12月17日 10:00～11:00	1時間	津センターパレス (三重県津市)	15人 (子ども6人)	フィリピン (6人)、ブラジル (1人)、日本 (8人)	(多言語おはなし会)日本語とフィリピン語でいろいろな活動をする	日本の絵本の読み聞かせをする。その後、内容に関連した果物や野菜の名前を日本語とフィリピン語両方で学ぶ。最後に好きな野菜や果物を発表する。	小野則子	西村キャサリン
22	平成26年12月21日 13:00～14:00	1時間	鈴鹿地域職業訓練センター (三重県鈴鹿市)	子ども10人	フィリピン (10人)	(多言語おはなし会)日本語とフィリピン語でいろいろな活動をする	サンタクロースのお話をフィリピン語と日本語で読み聞かせる。内容について両言語で確認する。最後に、2言語でクリスマスカードを作って親に渡す。	小野則子	西村キャサリン
23	平成27年1月31日 14:00～17:00	3時間	Escola Arte & Vida (三重県津市)	3人	ブラジル (3人)	ブラジルの絵本で読み聞かせを体験する	名前札を作成し自己紹介をする。母語の大切さ、日本語と母語の関係についての講義を受ける。その後、簡単な絵本で読み聞かせの体験をする。次に、ブラジルの絵本を日本語で表現し、その作業過程でいろいろな日本語を学ぶ。最後に子どもたちに2言語で絵本を読み聞かせる。	小野則子	細川智美エルダ
24	平成27年1月31日 14:00～17:00	3時間	Escola Arte & Vida (三重県津市)	子ども3人	ブラジル (3人)	日本語とポルトガル語でいろいろな活動をする	日本語やポルトガル語の絵本を読む。絵本の内容に合わせて、工作をしたり、歌を歌ったりする。最後に「おおきなかぶ」を演じる。	佐藤真紀	波田野サユリ
25	平成27年2月1日 14:00～17:00	3時間	アスト津 (三重県津市)	子ども3人	フィリピン (3人)	日本語とフィリピン語でいろいろな活動をする	日本語やフィリピン語の絵本を読む。絵本の内容に合わせて、工作をしたり、歌を歌ったりする。最後に「おおきなかぶ」を演じる。	佐藤真紀	西村キャサリン
26	平成27年2月7日 14:00～15:00	1時間	牧田コミュニティセンター (三重県鈴鹿市)	子ども10人	フィリピン (10人)	(多言語おはなし会)日本語とフィリピン語でいろいろな活動をする	フィリピンのお話をフィリピン語と日本語で読み聞かせる。内容について両言語で確認し、子どもたちに感想を話してもらう。	小野則子	西村キャサリン
27	平成27年2月8日 14:00～17:00	3時間	四日市市中部地区市民センター (三重県四日市市)	5人	フィリピン (5人)	フィリピンの絵本で読み聞かせを体験する	名前札を作成し自己紹介をする。母語の大切さ、日本語と母語の関係についての講義を受ける。その後、簡単な絵本で読み聞かせの体験をする。次に、フィリピンの絵本を日本語で表現し、その作業過程でいろいろな日本語を学ぶ。最後に子どもたちに2言語で絵本を読み聞かせる。	小野則子	加藤菜葉
28	平成27年2月8日 14:00～17:00	3時間	四日市市中部地区市民センター (三重県四日市市)	子ども7人	フィリピン (7人)	日本語とフィリピン語でいろいろな活動をする	日本語やフィリピン語の絵本を読む。絵本の内容に合わせて、工作をしたり、歌を歌ったりする。最後に「おおきなかぶ」を演じる。	佐藤真紀	西村キャサリン
29	平成27年2月8日 14:00～17:00	3時間	四日市市中部地区市民センター (三重県四日市市)	3人	ブラジル (3人)	ブラジルの絵本で読み聞かせを体験する	名前札を作成し自己紹介をする。母語の大切さ、日本語と母語の関係についての講義を受ける。その後、簡単な絵本で読み聞かせの体験をする。次に、ブラジルの絵本を日本語で表現し、その作業過程でいろいろな日本語を学ぶ。最後に子どもたちに2言語で絵本を読み聞かせる。	曽根由香里	細川智美エルダ
30	平成27年2月8日 14:00～17:00	3時間	四日市市中部地区市民センター (三重県四日市市)	子ども3人	ブラジル (3人)	日本語とポルトガル語でいろいろな活動をする	日本語やポルトガル語の絵本を読む。絵本の内容に合わせて、工作をしたり、歌を歌ったりする。最後に「おおきなかぶ」を演じる。	三谷菜穂美	古田シルビア 波田野サユリ
31	平成27年2月15日 10:00～13:00	3時間	鈴鹿地域職業訓練センター (三重県鈴鹿市)	5人	フィリピン (5人)	フィリピンの絵本で読み聞かせを体験する	名前札を作成し自己紹介をする。母語の大切さ、日本語と母語の関係についての講義を受ける。その後、簡単な絵本で読み聞かせの体験をする。次に、フィリピンの絵本を日本語で表現し、その作業過程でいろいろな日本語を学ぶ。最後に子どもたちに2言語で絵本を読み聞かせる。	小野則子	加藤菜葉
32	平成27年2月15日 10:00～13:00	3時間	鈴鹿地域職業訓練センター (三重県鈴鹿市)	子ども12人	フィリピン (12人)	日本語とフィリピン語でいろいろな活動をする	日本語のやフィリピン語の絵本を読む。絵本の内容に合わせて、工作をしたり、歌を歌ったりする。最後に「おおきなかぶ」を演じる。	佐藤真紀	西村キャサリン

33	平成27年2月15日 14:00～17:00	3時間	鈴鹿地域職業 訓練センター (三重県鈴鹿 市)	4人	ブラジル (4人)	日本の絵本で読 み聞かせを体験 する	名前札を作成し自己紹介をする。母語の大切 さ、日本語と母語の関係についての講義を受け る。その後、簡単な絵本で読み聞かせの体験を する。次に、日本の絵本をポルトガル語で表現 し、その作業過程でいろいろな日本語を学ぶ。最 後に子どもたちに2言語で絵本を読み聞かせる。	小野則子	細川智美エルダ
34	平成27年2月15日 14:00～17:00	3時間	鈴鹿地域職業 訓練センター (三重県鈴鹿 市)	子ども8 人	ブラジル (8人)	日本語とポルトガ ル語でいろいろな 活動をする	日本語やポルトガル語の絵本を読む。絵本の 内容に合わせて、工作をしたり、歌を歌ったりする。 最後に「おおきなかぶ」を演じる。	佐藤真紀	古田シルビア 波田野サユリ

(7) 参加者の募集方法

(公財)三重県国際交流財団HPおよびフェイスブックでの告知、財団に登録されている通訳・翻訳、日本語ボランティア等の協力者へのメール送信、外国人児童の初期日本語指導教室や開催地域を中心に活動しているフィリピン人およびブラジル人コミュニティ、子どもの健診を実施している保健センター、各日本語教室等へのチラシ配布にて行った。

(8) 特徴的な活動風景(2～3回分)

1) 親と子のおはなし教室「大人(親)クラス」

連続受講を想定した第1回(9月8日～9月12日実施)と1回完結型の内容とした第2回(1月31日～2月15日実施)では多少の違いがあるが、各回おおむね次のような内容で行った(順番は実施日によって多少変更した)。

①受講者およびスタッフによる名刺づくりと自己紹介→②講師による絵本の読み聞かせ活動例の紹介→③教室の目的の共有、母語保持と日本語教育の関係についての説明→④受講者同士の好きな絵本や来日歴について話し合う→⑤講師および補助者による絵本の読み聞かせ(短いお話)→⑥⑤の感想や気づきについて話し合う→⑦その日の課題となる絵本の紹介、語彙や表現の導入→⑧課題絵本を2言語(母語および日本語)で読み聞かせるための準備と練習→⑨子どもたちへ読み聞かせをする→⑩活動のふりかえり

なお、扱う絵本は、受講者の日本語レベル等に応じて決定された。また、日本およびブラジルやフィリピンの様々な絵本を集め、休憩時間などに手に取って閲覧できるようにした。

2) 親と子のおはなし教室「子どもクラス」

第1回(9月8日～9月12日実施)と第2回(1月31日～2月15日実施)では多少の違いがあるが、各回受講した子どもたちの①強い言語によるお話の読み聞かせ、②もう一つの言語による読み聞かせ、③1つのお話を2つの言語で読み聞かせ、④お話に関連した工作や歌、ワークシート、劇などを行った。子どもたちの年齢や性別、日本語レベルなどによって、扱うお話や活動を決定し、毎回たくさん絵本や紙芝居を使用した。

例として、1月31日の教室では、①ブラジルの民話の読み聞かせ→②日本の絵本(色や動物の名前が登場する内容)の読み聞かせ→③日本の紙芝居(色や果物の名前が多く登場する内容)の読み聞かせ→④色、動物、果物の絵カードを使って、ポルトガル語および日本語でクイズ→⑤日本の絵本(洋服をテーマにした内容)の読み聞かせ→⑥⑤に関連した工作→⑦絵本「おおきなかぶ」の読み聞かせ→⑧「おおきなかぶ」登場人物のお面作り→⑨最後に「おおきなかぶ」のお面をつけて、親たちの前で演じた。

3) 多言語おはなし会

各回の参加する子どもたちの年齢や日本語レベル、実施時期によって扱う絵本や活動内容を決定した。例として、12月21日はフィリピン人コミュニティのクリスマス会に集まった子どもたちを対象に実施し、次のような内容であった。

①今日の活動の流れを紹介→②タガログ語のクリスマスソングを歌う→③サンタクロースについての絵本を日本語、タガログ語、ビサヤ語で読み聞かせる(絵本に出てくる動物の名前を各言語で確認する)→④絵本の内容についての質問をする→⑤両親に贈るクリスマスカードを作る(日本語とタガログ語またはビサヤ語でメッセージを書く)→⑥最後にクリスマスカードを両親に渡し、皆でクリスマスソングを歌った。

(9) 取組の目標の達成状況・成果

大人クラスの受講者にはアンケートを実施した。受講者の8割以上が今後、学校や自宅などで子どもたちに絵本の読み聞かせをしたいと回答しており、「知識が高まった」「勉強になった」「家でも続けたい」という感想が多く、取組の目標は概ね達成できたと考えられる。また、「これまでにない日本語教室」と感じながらも、ほぼ全受講者が「また受講したい」と回答し、「定期的に開催してほしい」「回数を増やすべきだ」「もっと知り合いを連れてきたい」「この経験をいろんな人に伝えたい」などの声からも、非常に高い満足度が得られたといえる。

外国人住民の多くはチラシなどを見て受講を決めることは非常に少なく、コミュニティ内の口コミが活動を広める大きなカギを握っている。今年度は初めての取組であったため、どんな内容であるかが伝わり難かったと思われるが、今回の受講者の満足度が高かったことから、受講者の口コミを通じてこの取組やその目的が広まっていくことが期待される。

(10) 改善点について

・受講者募集が困難であった第1回(9月8日～12日実施)終了後、本事業の対象となる外国人住民でもある補助者と第2回(1月31日～2月15日実施)についての企画会議を行い、受講しやすい時期、時間、会場、チラシのイメージなどについて大きく変更した。その結果、第2回については、比較的多くの受講者を集めることができた。実施にあたっては、対象とする地域とコミュニティを明確にし、そのコミュニティとつながることで、より外国人住民のライフスタイルに合った形で実施できる。今後の実施にあたっては、事前の十分なリサーチが必要である。

・日本語教室においては、受講者の日本語レベルを的確に把握することが重要であるが、1回完結のクラスでは難しく、特に子どもクラスでは、個々の特性や嗜好、日本語および母語のレベルは実際に会わないと把握しづらい。しかし、それらの情報が十分ないと、事前のカリキュラムや教材準備ができないため、受講者の情報を、事前にどのようにどの程度収集するかが、課題である。

・取組の目的を地域に広く浸透させるためには、回数を増やして取組を継続することが望まれる。また、アンケート結果にも、今後の実施を希望する声が多かった。しかし、限られた時間、人材、予算の中で、どのような形で続けていくかは、今後の検討課題である。

○取組2:「親と子のおはなしハンドブック」制作

(1) 体制整備に向けた取組の目標

取組1での実践を活かして、同様の活動が手軽にできるようなハンドブックを作成し、個々の家庭や対象となる親子がいる教育機関等に広めていくことで、地域全体の言語教育への意識や教育体制の底上げを目指す。

(2) 取組内容

取組2では母語保持の大切さと絵本の読み聞かせの方法についてのアドバイスと、実際に家庭ですぐに活用できるオリジナル絵本を掲載した冊子を作成した。

(3) 対象者 本事業では、タガログ語版とポルトガル語版を作成した。

※本取組については、別添「親と子のおはなしハンドブック」を取組の成果として提出する。

(4)～(8)については本取組については該当しないため、省略する。

(9) 取組の目標の達成状況・成果

本取組ではオリジナルの絵本を考案した。取組1の第1回「親と子のおはなし教室」でこの絵本を試用し、受講者およびスタッフの意見・反応をもとに、修正した。受講者のアンケートでは、日本語の擬音語・擬態語を多く取り入れた内容は好評であったが、一方で、ポルトガル語やフィリピン語に翻訳することが難しいという意見もあった。そこで、擬音語・擬態語については、翻訳するのではなく、母語で自由に自分らしく表現するように説明し、ハンドブックにおいても、そのような解説をつけた。ハンドブックの目的や絵本の読み聞かせの方法については、取組1の内容を簡潔にまとめて掲載し、わかりやすい内容にすることができた。

(10) 改善点について

取組1の受講者以外にも使用方法を理解してもらうためには、さらに本ハンドブックを用いた教室の実施や、使用方法について紹介する機会を設けることが望まれる。取組1第2回の教室で使用予定であったが、受講者のレベル等の都合により、使用できなかったのが残念である。また、今回はハンドブックを実際に家庭で使用した感想を聞くところまではできなかったが、引き続きその効果について、追跡調査を行いたい。その検証を経て、他言語版やさらなる改訂版の制作などを検討したい。

6. 事業に対する評価について

(1) 事業の目的

外国につながりをもつ子どもたち、およびその保護者の日本語習得支援を目的として、①絵本の読み聞かせ活動のための日本語クラスを実施し、②家庭や教育機関でもその活動を実践するためのリソースをまとめて、県内の対象となる機関および対象家庭と共有することで、幼児期の日本語教育と、そのために重要となる母語保持のための支援体制を家庭の中から整備していくことを目指す。

(2) 事業目的の達成状況

新規事業のため、受講者数は少ない回もあったが、受講した外国につながりをもつ親には、日本語習得における母語の大切さ、もしくは母語も大事にしたい、という理念が伝わっていた。今後は家庭でも読み聞かせをしたいという感想が多かったことから、言語教育についての関心を高めることに成功したと言える。また、絵本を活用した日本語学習は、これまでの「難しい」「大変そう」という学習に対するイメージを変え、親子で楽しく学ぶ新しい形の教室を提案できたと言える。家庭で手軽に2言語で読み聞かせることが可能な素材はまだ少ないが、日本語、ローマ字による読み仮名表記、母語訳(タガログ語およびポルトガル語)を併記した「親と子のおはなしハンドブック」は、日本語の読み書きが苦手な外国人住民でも活用でき、新しいタイプの学習教材を提供できたと言える。

(3) 地域における事業の効果、成果

本事業の実施においては、地域の初期日本語教室、ブラジル人学校、保健センターをはじめ、多くの外国人住民のコミュニティの協力を得ることができた。コミュニティと連携し、コミュニティの活動の中で取組を実施できたことは、取組自体の改善のみならず、外国人住民のライフスタイルを知り、新たなニーズを探る上でも有益であった。また、今後活動する際に、拠点となり得る場所や、多くの協力者につながることもできた。本事業を通じて築かれたネットワークは、今後さらにこの事業の目的を広め、取組を発展していくための重要な基盤となると思われる。

(4) 改善点、今後の課題について

i 現状

新規事業であり、事業の理念はまだごく限られたコミュニティや機関と共有できているに過ぎない。また、多言語での読み聞かせを家庭でも行えるようにするためには、外国人住民が、それに適した素材を簡単に利用できるような、リソースやシステムが必要である。

ii 今後の課題

本事業の理念を、さらに広めていく必要がある。そのためには、小規模でも拠点を決めて、何らかの形で継続していくことが大切である。また、新しい形の日本語教室であるため、体験しなければ、その目的や楽しさはなかなか伝わりにくい。どのように広報をし、より多様な人々を巻き込んでいくかが課題である。さらに、外国人住民が使いやすい、読み聞かせに使える絵本をどのように提供していくか、考えなければならない。

「親と子のハンドブック」は、取組1の受講者以外には、その目的や使用方法を配布のみで伝えるのは難しいと思われる。外国人住民が集まる機会や教育機関での取組を利用して、使い方や体験できるようなしかけが必要であろう。

iii 今後の活動予定

本事業では単発の教室を繰り返し行ったが、今後は対象や拠点を絞り、「継続性」を重視した取組を考え、実施したいと考えている。また、本事業で補助者として協力してくれた方をこれからも活用し、多言語読み聞かせを担う人材を育成していくことにより、本事業の目的や取組を地域に広めていきたいと考えている。

(5) その他参考資料

活動風景の写真、アンケート結果、広報用チラシ



← 大人クラスの様子



← 子どもクラスの様子



← タガログ語と日本語で野菜の名前を覚えました。



← 「おおきなかぶ」を演じる子どもたち

親と子のおはなし教室



日本語とタガログ語で楽しいお話を読んでみませんか？

お子さんの教育に役立つ、ことばの教室です。



にほんのおはなし

コース（全3回）

日時：9月8日（月）、9月9日（火）、
9月11日（木）の10:00～12:00
ママとパパは日本のお話をタガログ語
に翻訳しながら、楽しく日本語も勉強し
ます。そして、子どもたちにお話を読み
ます。子どもたちは日本語とタガログ語
で歌ったり遊んだりします。

フィリピンのおはなし

コース（全3回）

日時：9月8日（月）、9月10日（水）、
9月12日（金）の10:00～12:00
ママとパパはフィリピンのお話を日本
語に翻訳しながら、楽しく日本語も勉強
します。そして、子どもたちにお話を読
みます。子どもたちはタガログ語と日本
語で歌ったり遊んだりします。

場所：アスト津

（津駅すぐ隣）

※詳しくは後日
お知らせします。

受講料：無料



対象者：

ひらがなとカタカナが
わかるママやパパと
その子ども（3～4才）
※その他の年齢は
相談してください。

【実施：申込み先】（公財）三重県国際交流財団（MIEF）

Tel:059-223-5006 Fax:059-223-5007 Email: mief@mief.or.jp

〒514-0009 津市羽所町700 アスト津3階

-----親と子のおはなし教室参加申込書-----

■8月29日（金）までに、Fax、Email、電話にてお申込みください。■

※後日、クラスの詳細をご連絡します。また、受講についての同意書をお願いします。

名前（カタカナ）			
希望コース	☐ にほんのおはなし ☐ フィリピンのおはなし ☐ 両方		
連絡先	住所：〒 電話：Fax： Email:		
子どもの名前と年齢	ちゃん（才）	子どもの名前と年齢	ちゃん（才）

Pangalan (Katakana)			
Ninanais na kurso	☐ Kuwento sa Nihongo ☐ Kuwento sa Tagalog ☐ Pareho		
Impormasyon ng Aplikante	Tirahan: Telepono Fax: Email:		
Pangalan at Edad ng Anak	Pangalan (Taon)	Pangalan at Edad ng Anak	Pangalan (Taon)

親と子のおはなし教室



日本語とポルトガル語で楽しいお話を読んでみませんか？

お子さんの教育に役立つ、ことばの教室です。



にほんのおはなし

コース（全3回）

日時：9月8日（月）、9月9日（火）、
9月11日（木）の13:00～15:00
ママとパパは日本のお話をポルトガル語に翻訳しながら、楽しく日本語も勉強します。そして、子どもたちにお話を読みます。子どもたちは日本語とポルトガル語で歌ったり遊んだりします。

ブラジルのおはなし

コース（全3回）

日時：9月8日（月）、9月10日（水）、
9月12日（金）の13:00～15:00
ママとパパはブラジルのお話を日本語に翻訳しながら、楽しく日本語も勉強します。そして、子どもたちにお話を読みます。子どもたちはポルトガル語と日本語で歌ったり遊んだりします。

場所：アスト津

（津駅すぐ隣）

※詳しくは後日
お知らせします。

受講料：無料



対象者：

ひらがなとカタカナが
わかるママやパパと

その子ども（3～4才）

※その他の年齢は
相談してください。

【実施：申込み先】（公財）三重県国際交流財団（MIEF）

Tel:059-223-5006 Fax:059-223-5007 Email: mief@mief.or.jp

〒514-0009 津市羽所町700 アスト津3階

-----親と子のおはなし教室参加申込書-----

■8月29日（金）までに、Fax、Email、電話にてお申込みください。■

※後日、クラスの詳細をご連絡します。また、受講についての同意書をお願いします。

名前（カタカナ）			
希望コース	☐ にほんのおはなし ☐ ブラジルのおはなし ☐ 両方		
連絡先	住所：〒 電話：Fax： Email:		
子どもの名前と年齢	ちゃん（才）	子どもの名前と年齢	ちゃん（才）



suas crianças

O que acha de ler contos divertidos em japonês e português? É uma Sala de palavras que serve para o desenvolvimento infantil.

Curso de contos japoneses
(total 3 vezes)

Data : 8(seg.), 9(ter.) e 11(qui.) de setembro, da 13h00 às 15h00

A mamãe e o papai irão traduzir os contos japoneses e contá-los em português. Assim, poderão estudar divertidamente o japonês. As crianças irão cantar e brincar em japonês e português.

Curso de contos brasileiros
(total 3 vezes)

Data : 8(seg.),10(qua.) e 12(sex.) de setembro, da 13h00 às 15h00

A mamãe e o papai irão traduzir os contos brasileiros e contá-los em japonês. Assim, poderão estudar divertidamente o japonês. As crianças irão cantar e brincar em japonês e português.

Local : Ust-Tsu

(ao lado da estação de Tsu)

✖ Sobre os detalhes,
entraremos em contato.

Taxa : gratuita



Público alvo :

Mamãe e papai que dominam o hiragana e katakana e suas crianças (de 3 à 4 anos)

**✖Fora estas idades, favor
entrar em contato
conosco.**

【Realização/inscrição】 Fundação de Intercâmbio Internacional de Mie (MIEF)

Tel:059-223-5006 Fax:059-223-5007 Email : mief@mief.or.jp

〒514-0009 Tsu-shi Hadokoro-cho 700 Ust-Tsu 3^o andar

-----Ficha de inscrição para a Sala de contos para pais e suas crianças -----

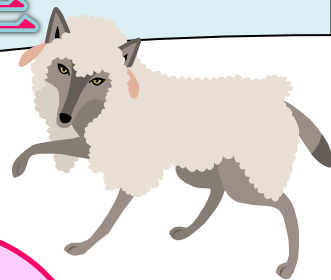
■Favor inscrever-se por fax, email ou tel.■

✱Entraremos em contato sobre os detalhes de cada sala. Para a participação, favor assinar o termo de consentimento.

Nome (katakana)			
Curso desejado	☐ Contos japoneses ☐ Contos brasileiros ☐ Ambos		
Contato	Endereço: 〒 Tel: Fax: Email:		
Nome e idade da criança	Nome (idade)	Nome e idade da criança	Nome (idade)

おや 親と子の

きょうしつ おはなし教室



にちじ ばしょ 日時と場所:

がつついたち にちようび 2月1日(日曜日) 14:00~17:00 津市

がつようか にちようび 2月8日(日曜日) 14:00~17:00 四日市市

がつ にち にちようび 2月15日(日曜日) 10:00~13:00 鈴鹿市

とう か あ かんたん にほん えほん ほんやく
お父さんとお母さんは簡単な日本とフィリピンの絵本を翻訳

して、子どもたちに読み聞かせます。

子どもたちは遊びながら日本やフィリピンの言葉や

文化を学びます。ぜひ家族で参加してください。

じゅこりよう
受講料は
むりよう
無料!

しょうさい
詳細は
うらめん
裏面へ!

じかん ばしょ

★2015年2月1日（日） 14:00～17:00 アスト津 3階（津市羽所町700）

ねん がつよう か にち
★2015年2月8日（日） 14：00～17：00
ちゅうぶ ち く し み ん よっかい ち し に し の う ら
中部地区市民センター（四日市市西 浦1-8-3）

★2015年2月15日（日） 10:00～13:00

すすかちいきしよくぎょくくねん すすかしすすか ばん こう
鈴鹿地域 職 業 訓練センター（鈴鹿市鈴鹿ハイツ 1 番 20 号）

たいしょう
対象: ひらがなとかたかながが^{だいたい}よめるパパとママとその^こ子ども。

えほん さい さい こ む おお こ かんげい
絵本は4歳～8歳くらいの子ども向けですが、それより大きなお子さんでも歓迎します。

たくじ おさ こさま たくじ
託児: 幼いお子様には託児もあります。

じっし もうしこ さき
実施・申込み先:

こうざい み え け ん こくざいこうりゅうざいだん
(公財) 三重県国際交流財団

〒514-0009 津市羽所町700 アスト津3階

Tel:059-223-5006 Fax:059-223-5007 (MIEF) Email : mief@mief.or.jp

さんかもうしこみしょ

参加申込書

たくじ じゅんぴ かいさい び とお か くらいまえ でんわ もうしこ
託児を準備しますので、開催日の10日位 前までに Fax、Email、電話にてお申込みください。

※後日、^{しょうさい}詳細な受講案内と事前アンケート、^{ちゅういじこう}注意事項を記載した同意書を送ります。^{きさい}
^{どういしょ}
^{おく}

なまえ 名前			
きぼう ひ 希望日	☐ つ し がつついだち 津市(2月1日)	☐ よっか いちし がつよう か 四日市市 (2月8日)	☐ すすかし がつ にち 鈴鹿市 (2月15日)
れんらくさき 連絡先	じゅうしょ 住所：〒 でんわ 電話： Email: Fax：		
こ なまえ ねんれい 子どもの名前と年 齢	(さい 才)	こ なまえ ねんれい 子どもの名前と年 齢	(さい 才)

Story telling Class para Sa magulang at anak

フィリピン語コース

Petsa, Oras at Lugar

Pebrero 1, 2015 (Linggo), 2:00-5:00, Tsu

Pebrero 8, 2015 (Linggo), 2:00-5:00, Yokkaichi

Pebrero 15, 2015 (Linggo), 10:00-1:00, Suzuka

Isasagawa ng mga magulang ang simpleng pagsasalin ng libro sa sariling wika at ikukuwento sa mga bata.

Ang kultura at wika ng banyagang magulang ay maipakikilala at matututunan ng may aliw at saya.

Inaasahan namin ang inyong pagdalo.

Ang aktibidad
na ito ay
LIBRE.

Tingnan ang likod
para sa iba pang
impormasyon

Detalye ng klase

★Pebrero 1, 2015(Linggo) 2:00-5:00 pm , UST Tsu 3F

(Tsu-shi Hadokorocho 700)

★ Pebrero 8, 2015 (Linggo) 2:00-5:00 pm ,Chubu Chiku Shimin Center

(Yokkaichi-shi Nishiura 1-8-3)

★Pebrero 15, 2015 (Linggo) 10:00am -1:00 pm , Suzuka Chiki Shokugyo Kunren Center

(Suzuka-shi Suzuka Haitsu 1-20)

*Maaaring dumalo ang mga nanay at tatay na nakababasa ng hiragana at katakana

*Ang paksang libro ay para sa mga batang may edad na 4 hanggang 8 taong gulang subalit maari ring dumalo kahit higit pa sa edad nabanggit.

*May nakalaang babysitter para sa maliliit na bata

Registration : Mie International Exchange Foundation (MIEF)

Tel: 059-223-5006 Fax: 059-223-5007 Email: mief@mief.or.jp

Zip Code 514-0009 Tsu-shi Hadokoro-cho 700 UST-TSU 3F

----- Registration Form -----

*Magparehistro ng maaga (10 days before) para sa paglalaan ng babysitter o mag-aalaga sa mga bata . Sulatan lang ang form ,i-fax, tumawag o mag-email.

* Ipapadala ang iba pang detalye o impormasyon kasama ang pre-questionnaire.

Pangalan			
Nais na Daluhan	☐ Tsu (Feb 1, 2015) ☐ Yokkaichi (Feb 8, 2015) ☐ Suzuka (Feb 15 ,2015)		
Contact	Address Tel: Email:		
Pangalan at edad ng bata		Pangalan at edad ng bata	

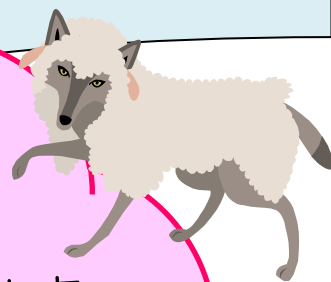
親と子の

おはなし教室



日時と場所:

- 1月31日(土曜日) 14:00~17:00 津市
2月8日(日曜日) 14:00~17:00 四日市市
2月15日(日曜日) 14:00~17:00 鈴鹿市



親は日本語の絵本を翻訳して日本語を覚えたり、ブラジルのお話を日本語でどのように表現するのかを学んだりします。子どもたちは遊びながら学びます。その後、親は子どもたちに絵本を読み聞かせます。ぜひ家族で参加してください！



受講料は
無料！

詳細は
裏面へ！

じかん ばしょ

時間と場所

★2015年1月31日(土) 14:00~17:00

Escola Arte & Vida (津市高茶屋6-1-22)

★2015年2月8日(日) 14:00~17:00

中部地区市民センター (四日市市西浦1-8-3)

★2015年2月15日(日) 14:00~17:00

鈴鹿地域職業訓練センター (鈴鹿市鈴鹿ハイツ1番20号)

対象: 簡単な日本語が話せるパパとママとその子ども。

絵本は4歳~8歳くらいのお子様向けですが、それより大きなお子さんでも歓迎します。

託児: 幼いお子様には託児もあります。

実施・申込み先: (公財) 三重県国際交流財団 (MIEF)

Tel:059-223-5006 Fax:059-223-5007 Email: mief@mief.or.jp

〒514-0009 津市羽所町700 アスト津3階

さん かもうしこみしょ

参加申込書

託児を準備しますので、開催日の10日前までに Fax、Email、電話にてお申込みください。

※後日、詳細な受講案内と事前アンケート、注意事項を記載した同意書を送ります。

なまえ 名前			
きぼうひ 希望日	☐ 津市(1月31日) ☐ 四日市市(2月8日) ☐ 鈴鹿市(2月15日)		
れんらくさき 連絡先	じゅうしょ 住所: 〒 でんわ 電話: Fax: Email:		
こ 子どもの名前と年齢	(さい 才)	こ 子どもの名前と年齢	(さい 才)

Sala de contos infantis para Crianças



ポルトガル語コース

e seus pais ♥

Data, horário e local:

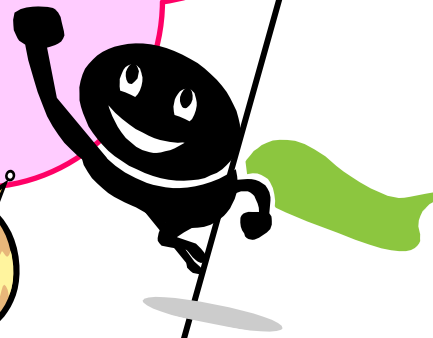
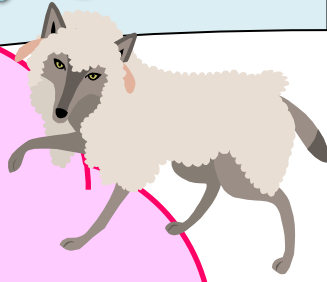
31 de janeiro (sáb.) das 14h00 às 17h00 em Tsu

8 de fevereiro (dom.) das 14h00 às 17h00 em Yokkaichi

15 de fevereiro (dom.) das 14h00 às 17h00 em Suzuka

Os pais irão aprender vocabulários de contos japoneses e/ou como dizer em japonês os vocabulários de contos brasileiros. Enquanto isso as crianças irão realizar atividades educacionais! No fim, todos irão contar estes contos para as crianças.

Participe com toda a família!!!



Totalmente gratuito!!!

Mais informações ao verso!

Detalhes de cada sala

★31 de janeiro de 2015 (sáb.) das 14h00 às 17h00
na Escola Arte & Vida (Tsu-shi Takachaya 6-1-22)

★8 de fevereiro de 2015 (dom.) das 14h00 às 17h00
no Chubu Chiku Shimin Center (Yokkaichi-shi Nishi no Ura 1-8-3)

★15 de fevereiro de 2015 (dom.) das 14h00 às 17h00
no Suzuka Chiki Shokugyo Kunren Center (Suzuka-shi Suzuka Haitzu 1-20)

Público alvo: mamãe e papai que entende um pouco de japonês e seus filhos. Os contos são voltados para crianças de 4 à 8 anos de idade, porém crianças maiores também são bem vindas.

Babá: haverá serviço de babá para crianças pequenas.

Realização e inscrição: Fundação de Intercâmbio Internacional de Mie (MIEF)
Tel: 059-223-5006 Fax: 059-223-5007 Email: mief@mief.or.jp
Cep. 514-0009 Tsu-shi Hadokoro-cho 700 UST-TSU 3º andar

----- Formulário para inscrição -----

Para podermos providenciar o serviço de babá, favor realizar a inscrição por fax, email ou telefonema até 10 dias antes da realização deste evento.

*Após a inscrição iremos enviar informações sobre a participação, um envelope antecipado e o termo de consentimento que consta os pontos de observações.

Nome			
Participação desejada	☐ Tsu (31 de janeiro) ☐ Yokkaichi (8 de fevereiro) ☐ Suzuka (15 de fevereiro)		
Contato	Endereço: Cep. Tel: Email:		
Nome e idade da criança	(anos)	Nome e idade da criança	(anos)

第 1 回「親と子のおはなし教室」アンケート結果

(公財) 三重県国際交流財団

1. 各項目の満足度を 5-とても満足 ～ 1-不満 の5段階で教えてください。

[回答数 フィリピン (4) ブラジル/ペルー/ボリビア (4)]

※大人(親)クラス受講者にのみ実施

※以下 () 内は人数

① 全体の内容

5-とても満足 フィリピン (4) ブラジル/ペルー/ボリビア (4)

② 絵本の翻訳

5-とても満足 フィリピン (3) ブラジル/ペルー/ボリビア (2)

4-まあまあ満足 フィリピン (0) ブラジル/ペルー/ボリビア (1)

3-どちらともいえない フィリピン (1) ブラジル/ペルー/ボリビア (1)

③ 読み聞かせの練習

5-とても満足 フィリピン (2) ブラジル/ペルー/ボリビア (2)

4-まあまあ満足 フィリピン (1) ブラジル/ペルー/ボリビア (1)

無回答 フィリピン (1) ブラジル/ペルー/ボリビア (1)

④ おはなし交流会 (日本人親子が参加した読み聞かせ)

5-とても満足 フィリピン (1) ブラジル/ペルー/ボリビア (2)

4-まあまあ満足 フィリピン (1) ブラジル/ペルー/ボリビア (1)

無回答 フィリピン (2) ブラジル/ペルー/ボリビア (1)

2. これまで読み聞かせをしたことがありますか。

フィリピン 今している (2) ～ 家、幼稚園

ない (1)

無回答 (1)

ブラジル/ペルー/ボリビア 今している (2) ～ 学校

ない (1)

無回答 (1)

3. 今後、学校や自宅などで絵本の読み聞かせをしたいですか。

フィリピン	はい	(3)	～	家、どこでも
	いいえ	()		
	無回答	(1)		
ブラジル／ペルー／ボリビア	はい	(3)	～	自宅か子どもがいる友達の家
	いいえ	()		
	無回答	(1)		

4. 今後もこのような教室に参加したいですか。

フィリピン	はい	(3)	～	スケジュールによって
	いいえ	()		
	無回答	(1)	～	その時に考える
ブラジル／ペルー／ボリビア	はい	(3)		
	いいえ	()		
	無回答	(1)		

5. その他、感想など

【フィリピン】

- ・文は小さな子のために、短くした方が良いと思う。
- ・子どもたちが他の言語を理解していない場合は、先に日本語で意味を説明したほうがいい。

【ブラジル／ペルー／ボリビア】

- ・大変良かった。ただし、翻訳するときに、スペイン語にはない言葉が多かったので、これをどう訳せばよいかアドバイスが欲しかった（ザクザク、ジュージュー等）
- ・とても良かった。今までに参加したことがない教室だった。
- ・外国人にとっては良いアイデアだ。このような活動に感謝する。
- ・このよう教室を開催してくれて感謝する。このようなイベントを通じて文化交流を深めていくことが何より大切だと思う。

第 2 回「親と子のおはなし教室」アンケート結果

(公財) 三重県国際交流財団

[回答数 フィリピン (10) ブラジル (9)]

※大人(親)クラス受講者にのみ実施

※以下 () 内は人数

1. この教室の満足度を教えてください。(数字を○で囲んでください。)

※各項目の満足度を 5-とても満足 ～ 1-不満の 5 段階で回答

① 全体の内容

5-とても満足 フィリピン (8) ブラジル (9)

4-まあまあ満足 フィリピン (2)

② 絵本の翻訳

5-とても満足 フィリピン (5) ブラジル (8)

4-まあまあ満足 フィリピン (5) ブラジル (1)

③ 読み聞かせの練習

5-とても満足 フィリピン (6) ブラジル (9)

4-まあまあ満足 フィリピン (4)

2. 楽しかったことは何ですか。(自由記述)

【フィリピン】

- ・全部 (5) ・読み聞かせ、子どもたちに本を読んだとき (3)
- ・演技 (2)

【ブラジル】

- ・全部 ・名札を作ったこと ・人が良かった ・面白かった
- ・子どもたちの前で演じること
- ・先生たちのやさしさとリラクゼーション

3. 難しかったことは何ですか。(自由記述)

【フィリピン】

- ・翻訳 (6) ・言語 ・日本語で読むとき (2)

【ブラジル】

- ・翻訳 (3) ・言葉の選び方に苦労した ・ない、おもしろかった
- ・日本語

4. これから自分の家でもやってみたいと思ったことは何ですか。(自由記述)

【フィリピン】

- ・(同じようなことを) したいと思う

【ブラジル】

- ・2 言語を話すこと ・練習をもっとする ・本をもっと読む
- ・とても良かった。楽しかったので、家で同じようにやりたくなった
- ・翻訳して、子どもに読んで、一緒に演じる ・自分の子どもに読む
- ・子どもたちと家でもやる ・娘と一緒に楽しく日本語を学ぶこと
- ・同じことをしたい

5. 今日の活動で、他に思ったこと、感じたことがあれば書いてください。

【フィリピン】

- ・楽しかった（ 5 ） ・知識が高まると思った ・勉強になった
- ・家でもタガログ語を教えること ・家でもやりたい
- ・フィリピン語→日本語の翻訳のコツがや知識が増えました

【ブラジル】

- ・楽しいし、興味深かった（ 3 ） ・参考になる
- ・楽しいアドバイスだった ・とても良かった（ 2 ）
- ・自分の子どもたちにどのように読み聞かせたらいいのか学んだ
- ・先生たちの進め方が素晴らしかった。参加者を巻き込んで楽しくすること
- ・また開催したら楽しいと思う
- ・親と子をはげますためにも、いつも開催したらよい

6. これまで学校や自宅などで読み聞かせをしたことがありますか。（選択式）

【フィリピン】 したことがある（ 7 ）

～家、幼稚園、教会、学校（ALT）、介護のデイサービス

現在している（ 0 ）

ない（ 3 ）

【ブラジル】 したことがある（ 6 ）～家

現在している（ 0 ）

ない（ 2 ）

無回答（ 1 ）

7. 今後、学校や自宅などで子どもたちに絵本の読み聞かせをしたいですか。

【フィリピン】 はい（ 8 ）～ 家、学校

いいえ（ 0 ）

わからない（ 2 ）

【ブラジル】 はい（ 7 ）～ 家、学校、子どもの友達に

いいえ（ 0 ）

わからない（ 1 ）

無回答（ 1 ）

8. 今後もこのような「親と子のおはなし教室」があれば参加したいですか。

【フィリピン】 はい (10) ～ スケジュールによって (1)
※うち日曜日希望が (5)

いいえ (0)

【ブラジル】 はい (8) ※土曜日または日曜日希望者が多い

いいえ (0)

無回答 (1)

9. その他、意見・要望など。

【フィリピン】

- もっと多くの人や友達をよんでください。そうしたらもっと楽しい。
- 親子にとっていい経験だった。
- この活動は今日だけじゃなく、毎回あるようにしてほしい。親と子どもたちが友達を作ることができる一つの場所になる。
- この活動に参加して良かった。勉強になって、子どもたちも十分楽しんだ。
- もっと時間がほしい。

【ブラジル】

- とても良いと思う。親が子どもと過ごす時間も増えるし、一緒に楽しめる。
- このような教室を実施してくれて、感謝している。何かを学ぶのは、とても良いこと。子どもたちは本にすごく興味がある。
- 定期的開催してほしい。 ・回数を増やすべきだ。
- とても良かった。もっと早く知れば良かった。子どもも連れて来たかったため。これからも実施して、子どもやもっと人を連れて来たいと思った。
- 参加する機会があり、一緒に2才と9才の娘も連れてくることができた。2人とも大変喜んでいて。このような機会が、みんなにもあるといいと思った。変わった学習方法なのと、これからも家で続けたいと思えたのと、この経験をいろんな人に教えたいと感じた。ありがとう。
- とてもクリエイティブな活動だと思った。
作る → 見る → 親と子の芝居 → 参加する
- 教室はとてもクリエイティブで刺激になった。